

## 社会科での学び——「日本史調査実習」を例に

教育学部社会科には、「日本史調査実習」「地理学調査実習」「地域社会調査実習」など、様々な地域に出かけてフィールドワークを行う授業科目があります。

その一つである「日本史調査実習」では、阿蘇や菊池など、熊本県内を中心にフィールドワークを行い、そこでの人々の暮らしやその歴史を多方面から調査する活動を行っています。

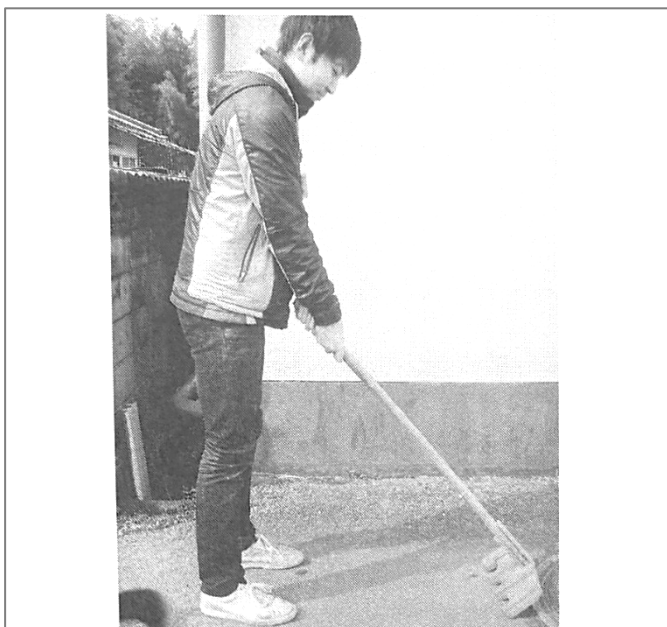
下の写真(図1)は、その成果をまとめた報告書の例です。



(図1:日本史研究室調査報告書の例)

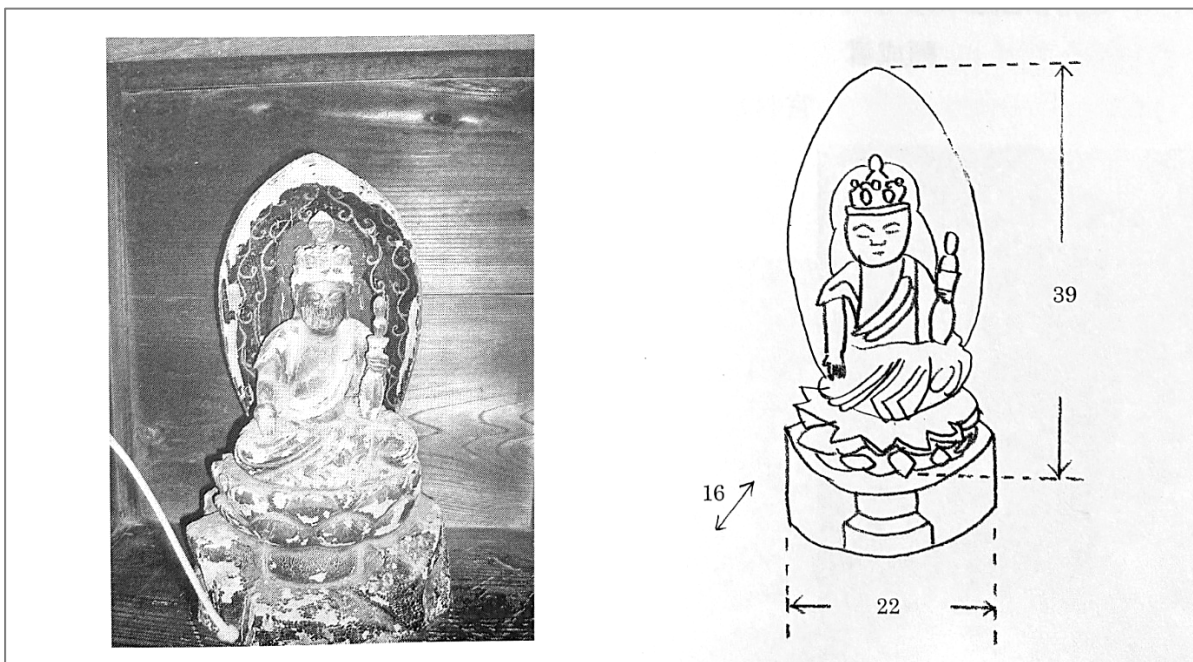
これらの報告書には、参加者がその地域で丹念に調べた社会構造、産業、生活、文化などについての資料や解説が収められています。

以下の2つの写真は、菊池市下赤星地区の調査報告書に収められた写真で、この地域で使用されてきた農具(図2)と、信仰の対象となってきた仏像(図3)の例です。



モミカキ

(図2:農具の例)



十二番赤星千頭観音像(左像)

(図3:信仰物の例)

また、調査の過程では、地域住民の方からお話を伺うことがとても重要な作業になります。

報告書には、次のような聞き取り調査の様子も収められています。



(図4:聞き取り調査の様子)

社会科では、一例としてこのような調査実習を通じ、過去から現在に至る社会のあり方、そこでの人々の生活や文化について深く学ぶことができます。

また、そのような学びの成果を踏まえ、未来の社会の担い手である子どもたちをどう育てるかを考えることが教育学部社会科としての重要な課題になります。

社会科教員・学生一同、共に学び、これからの教育を考える仲間として、新入生の皆さんをお迎えするのを楽しみにしています。

(2026年3月 文責:社会科教育講座主任)